

CES 活動ニュース

皆様、新年おめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

CES 推進協議会・職員一同

1. 参加者募集！「環境フェスタ」

平成 25 年度活動の一つであります「CES 環境フェスタ」を、来る 2 月 22 日（土）に開催することになりました。

この活動は、CES 発足以来、毎年度環境をテーマとして「シンポジウム」或は「フェスティバル」として実施してまいりましたが、今年度は、環境意識の再認識という視点も含め、テーマを“楽しみながら環境のことを学ぼう”と題し、『宇宙から見た千代田』として、JAXA（宇宙航空研究開発機構）による環境講座、また、『アリの大冒険！千代田から宇宙へ』（NPO 法人コドモ・ワカモノ・まちing）など、子供から大人まで幅広い世代を対象としたプログラムをご用意しました。

また、企業、学校・団体、行政等のご支援、ご協力を頂きながら環境活動の発表や啓発ポスターなどのブースも予定しておりますので、区民の皆様はじめ多くの方々のご参加を期待しております。

日 時：平成 26 年 2 月 22 日（土）午後 1 時から 4 時 30 分まで
場 所：千代田区役所 1 階区民ホール（千代田区九段南 1-2-1）
内 容：詳細は、別紙のチラシをご覧ください。



なお、区民ホールでの催し終了後に、ご参加いただいた関係各位との交流の場をご用意いたしますので、ふるってご出席の程、あわせてお願ひ申し上げます。

なお、ご出席いただける方は、別紙の申込書にて CES 推進協議会 事務局までお申し込みください。

<お問合せ・申込先>

CES 推進協議会 事務局

電話/FAX(共通) : 03 - 5211 - 5085

E-mail : info@chiyoda-ces.jp

2. 参加者募集！「CES・さくら咲くプロジェクト 冬編 ～夜の公園散策～」

昨年 7 月・8 月に実施した「夏編」に続き、2 月 14 日（金）に「CES・さくら咲くプロジェクト 冬編」を開催いたします。

今回は“若い人達が楽しく環境にふれ合えるチャンス！”として、バレンタインの夜に、「日比谷公園

内で『チョコ』と春を待つ生きもの探し」を行います。

公園近郊のビジネス街にお勤めの方など、仕事帰りに気軽に立ち寄れる企画です。

講師に、NPO 法人生態教育センターの大原庄史氏をお招きして、“冬の生きもののお話”をしていただきます。普段あまり気に留めない生態など、興味あるお話を聞けることでしょう。その後、公園散策をし“春を待つ生きものとの出会い”を探します。

バレンタインの夜に、若いカップルの誕生の期待も込めて、知人、友人など興味のある独身男女の参加をお待ちしております。どうぞふるってご参加ください。

日 時：平成 26 年 2 月 24 日（金）18:30～20:00

場 所：日比谷公園内、日比谷図書文化館・セミナーホールA会議室

講 師：NPO 法人 生態教育センター 大原庄史氏 など

応募方法など、詳しくはこちら↓

<http://chiyoda-ces.jp/class1/sakura/entry/>



3. 事業報告：「ウォーキング・プラス・野鳥の物語り」

「ウォーキング・プラス・環境物語りシリーズ」の第2弾として、1月18日（土）に「ウォーキング・プラス・野鳥の物語り」を開催しました。

今回の参加者数は14名、さらに学生ボランティア（法政大・明治大）として6名が参加しました。

日比谷公園や皇居お濠で、冬鳥を中心に観察しました。観察の後、「緑と水の市民カレッジ」事務局長 高橋氏から、日比谷公園内の歴史的変遷や、園内に生息する動植物のお話などを伺い、また、当日の観察企画のリーダーを務めた CES 松沢環境リーダーからは、観察後の「都市と野鳥」の考察について、昼食をとりながらお話を聴きました。

参加者からは、「都心で生息する多くの野鳥の多さ（当日は13種類みられました）」や「限られた時間内で多くの野鳥を観察できた」などの声があがり、皇居周辺の環境を垣間見ることができました。

なお、観察に先立ち、資料や機材などを準備していただいた環境リーダー担当者の配慮に対して、参加者からも感謝の声があったことを付け加えさせていただきます。ありがとうございました。

シリーズ最終回の第3弾は、「桜」をテーマに3月29日（土）を予定しております。

*本企画の実施にあたり、「和光堂株式会社」様より飲料水のご提供をいただきました事、併せてご報告させていただきます。ありがとうございました。



かんきょう

今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、ご覧になった方も多いと思いますが、新年1月8日(水)の朝日新聞朝刊に、ショッキングなニュースがありました。

見出しは、「温暖化で数億人移住必要」・・・食糧難、貧困拡大というものでした。



地球温暖化による海面上昇などで、今世紀末までにアジアを中心に数億人が移住を余儀なくされると予測。国連の「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」の最終報告書案でこのようにまとめています。

農作物の生産量の減少で食糧問題が深刻化するなど、人類の社会・経済に大きな影響を及ぼすと指摘しているのです。また、温室効果ガスの削減だけでなく、被害を軽くする適応策の必要性をも強調しているのです。

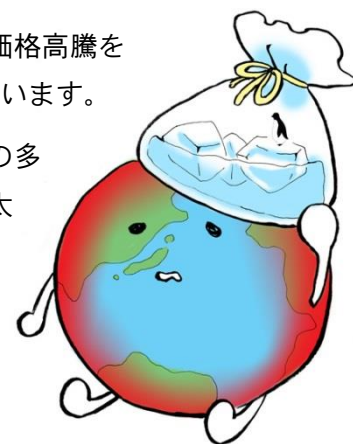
海面上昇に伴う浸食などによって、沿岸の土地が失われ移住を余儀なくされる・・・昨年9月時点の公表では、世界の海の水位は最大80cm上昇と予測したが、その後の温暖化の影響で、世界の平均気温は、18世紀半ばの産業革命前と比べて、すでに1度ほど上昇しているそうです。このままだと、今世紀末までにさらに最大4.8度上昇するとされているようです。

そして気温の上昇に伴い、高温障害などが発生して農産物の生産量は毎年大きく変動し、10年単位で見ると最大2%の減産。

一方で、人口増を背景に需要は10年当たり14%ほど増えるため、供給不足や価格高騰を招きやすく、貧困率の高い熱帯の国々では特に深刻な食糧難に陥る恐れがあるといえます。

水産物についても温暖化で生息域が変わり、今世紀半ばまでは、中高緯度では種の多様性が豊かになるが、熱帯域では貧しくなり、日本周辺では日本海沿岸や南方の太平洋では最大漁獲量が減少し、東北沖の太平洋では増加する・・・等々

まもなく2月を迎えますが、例年になく寒い日があったり、日によって気温差が急激に変化するなど年々感じる機会が多いように思います、そんなところからも地球環境が確実に変化していることの表れなのかもしれません。



私たちCESの活動も、ほんの小さなことかもしれませんが、一人一人に環境意識を広め、取り組みへのきっかけになればと考え、今年も頑張ってまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。 s k